

【上峰町】

校務 DX 計画

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果（速報値）によると、上峰町の主な課題として、クラウドサービスの活用、ペーパーレス化、FAX 及び押印の廃止、校務支援システムへの不必要な手入力作業の一掃などがあげられる。

これらの課題を解決するため、以下の解決策に取り組む。

取り組みにあたっては、佐賀県が示す教育 DX グランドデザインを踏まえたものとする。

【今後の取組方針】

1. クラウドサービスの活用

現行の校務支援システムは、佐賀県が提供しているシステム（SEI-NET）を使用し校務事務を行っている。今後は、クラウド型の統合型校務支援システムを導入し、学籍管理、出席管理、成績管理、通知表の作成、指導要録の作成といった一連の作業がしっかりと紐づくようにし、データの一元管理や集計の自動化などにより、不要な手入力作業を一掃し、事務処理に係る時間を短縮することで、教職員の負担軽減につなげる。また、校務系ネットワークと学習系ネットワークを統合し、学校・関係業者と協議・連携を図りながら、セキュリティを確保したゼロトラスト型のネットワーク整備の検討を進め、校務の効率化を図る。

2. ペーパーレス化

町立学校では、校内の職員会議等で、校務用サーバー内の共有フォルダに保存した電子データを会議資料として共有等を行ってきた。今後は、会議資料等はクラウド上で共有を行うことを推奨し、児童生徒や保護者へのアンケートについてもクラウドサービスやアプリを活用したデータでの提供を基本とする。また、自動採点システムによる採点を行い、採点後の答案をデータで返却するなどの取組を行い、ペーパーレス化を推進する。

3. FAX・押印の廃止

FAX は原則使用しない方針とし、業者等とはメールを使ったやりとりなどで対応できないかを継続的に働きかけていく。

押印については、証明等絶対に必要なものと押印が省略できるものを区別し、できる限り押印が必要な手続きを減らすよう努力する。